

3月7日（日） 土の器から輝き出る光

1 見ることで変えられる

（2コリント3：18） 私たちはみな、顔のおおいをとりのけられて、主の栄光を鏡に映すように見つめながら、栄光から栄光へと、主と同じ姿に変えられていきます。これはまさに、御霊なる主の働きによるのです。

（詩篇16：8） 私はいつも、私の前に主を置いた。主が私の右におられるので、私はゆるぐことがない。それゆえ私の心は喜び、私のたましいは楽しんでいる。私の身もまた安らかに住まおう。…あなたの御前には喜びが満ち、あなたの右には、楽しみがとこしえにあります。

（詩篇115：8） 偶像を造る者は、それと同じようになる。それに信頼する者もみな、同じである。

2 キリスト・イエスを宣べ伝える

（2コリント4：1~5） こういうわけで、私たちは、あわれみを受けてこの務めに任じられているのですから、勇気を失うことなく、恥ずべき隠された事を捨て、悪巧みに歩まず、神のことばを曲げず、真理を明らかにし、神の御前で自分自身をすべての人の良心に推薦しています。それでもなお私たちの福音におおいが掛かっているとしたら、それは、滅びる人々のばあいに、おおいが掛かっているのです。そのばあい、この世の神が不信者の思いをくらませて、神のかたちであるキリストの栄光にかかわる福音の光を輝かせないようにしているの

す。私たちは自分自身を宣べ伝えるのではなく、主なるキリスト・イエスを宣べ伝えます。

（ヨシュア 24:15） …あなたがたが仕えようと思うものを、どれでも、今日選びなさい。私と私の家とは、主に仕える。

3 土の器から輝き出る光

（2コリント4：6~7） 「光が、やみの中から輝き出よ。」と言われた神は、私たちの心を照らし、キリストの御顔にある神の栄光を知る知識を輝かせてくださったのです。私たちは、この宝を、土の器の中に入れていたのです。それは、この測り知れない力が神のものであって、私たちから出たものでないことが明らかにされるためです。

（ヨハネ1：4~5） この方（イエス・キリスト）に命があった。この命は人の光であった。光はやみの中に輝いている。やみはこれに打ち勝たなかった。

（1コリント11：23~25） 私は主から受けたことを、あなたがたに伝えたのです。すなわち、主イエスは、渡される夜、パンを取り、感謝をささげて後、それを裂き、こう言われました。「これはあなたがたのための、わたしのからだです。わたしを覚えるために、このようにしなさい。」夕食の後、杯をも同じようにして言われました。「この杯は、わたしの血による新しい契約です。これを飲むたびに、わたしを覚えるために、このようにしなさい。」